

# みんなで守る みんなの命

## ～自助・共助・公助で災害に強いまち～

本市は、平成22年の7.15豪雨災害、平成23年の9.20台風15号豪雨によって大きな被害に見舞われました。また、近い将来、南海トラフ巨大地震等による被害も想定されています。

こうした災害に対し、これまで行政を主体として被害を未然に防ぐ取り組み(防災)が行われてきました。しかし、現在は自然災害の発生そのものは防ぐことはできないという認識の下で、日ごろからの備えによって被害を最小限に抑える取り組み(減災)が重要となっています。

減災を進める上では、行政の取り組み(公助)に加えて、住民一人ひとりの取り組み(自助)、そして、地域での協力による取り組み(共助)が大切です。

【7.15豪雨災害による被害】



### 住民の役割

- 防災知識の習得
- 備蓄品の準備
- 住宅の耐震補強や家具の転倒防止
- 地域の自主防災活動への参加
- 自分や家族の安全確保

一人一人の自覚に根ざした

### 自助

「自分の命・財産は自分で守る」



### 協力・補完



地域コミュニティなどによる

### 共助

「隣近所での協力」

### 地域の役割

- 自主防災活動の推進
- 地域内の安否確認や避難誘導
- 協力して消火・救助活動



行政による

### 公助

「市が進める災害対策」

### 行政の役割

- 防災知識の普及
- 地域の自主防災活動への支援
- 災害情報の収集・伝達
- 各種応急・復旧対策

# 自助の実践方法

- 食料や水、緊急物資など1週間程度の量を備蓄しましょう。
- 非常時持出品をリュックなどにまとめておきましょう。

「非常時持出品チェックリスト」参照

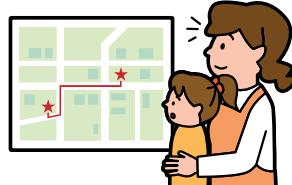


- 災害情報をどうやって入手できるか確認しておきましょう。(防災行政無線、すぐメールかに、ケーブルテレビ可児のコミュニティチャンネル、FMらら76.8MHzなど)

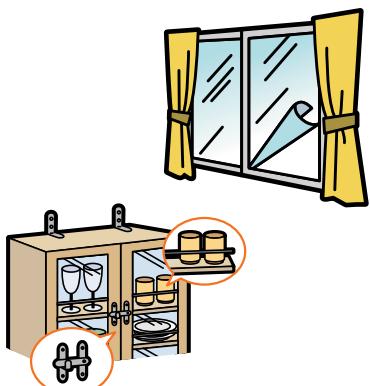


- 避難所や安全な避難経路を確認しておきましょう。
- 家族がバラバラになった時の連絡方法や集合場所を決めておきましょう。

「家族の避難先」参照



- 住まいの耐震補強や家具を固定するなど転倒防止対策をしましょう。



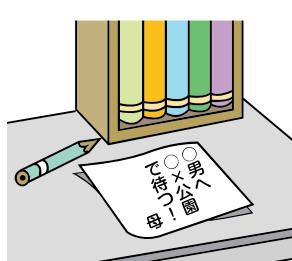
- 防災訓練などの地域の自主防災活動に積極的に参加しましょう。



- 家族や近所に障がい者や高齢者などがある場合は、避難を手伝いましょう。



- 大雨や台風などの気象情報、震源や震度などの地震情報に気を配り、早めの避難を心がけましょう。
- 避難する時は、必ず家族などに伝えましょう。



- 災害が発生した時は、慌てずに、落ち着いて行動しましょう。

## 豪雨の場合

- 早めに安全な場所(自宅の2階も可)に避難しましょう。
- 浸水時の避難は足元に注意し、無理な避難は控えましょう。



## 地震の場合

- すぐに身を守り、揺れがおさまったら、火を始末して出口を確保しましょう。
- 避難時は余震やブロック塀などの倒壊に注意しましょう。



# 共助の実践方法

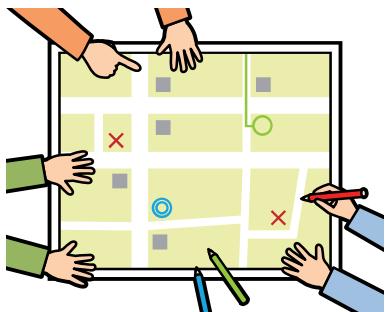
- 自治会などを中心に自主防災活動を実施しましょう。



- 避難場所となる施設では、食料や水、防災資器材などを備蓄し管理しましょう。



- 避難経路などの危険箇所を調べて、地域の防災マップを作成しましょう。



- 地域で参加型の防災訓練を実施しましょう。

## 避難訓練

- 避難経路や危険箇所を把握しておきましょう。



## 救護訓練

- 応急救護の方法を身につけておきましょう。



## 避難所生活の体験

- 受付けや居住スペースなど用途に応じたスペースの割り振りをしてみましょう。



- 災害が発生した時は、お互いに助け合って避難行動や避難所生活を送りましょう。

## 救助活動・応急救護

- 自治会や自主防災組織を中心に、できる限り救助や救護に協力しましょう。



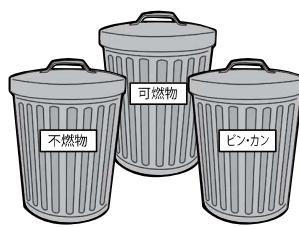
## 食料や水、物資の配給

- 炊き出しや緊急物資の配給に協力しましょう。



## ごみ処理

- ごみは分別して出しましょう。
- 高齢者などのごみ出しを手伝いましょう。





# 非常時持出品チェックリスト



## 非常持出品(災害発生時、最初に持ち出すもの)

- 非常食(カンパン、缶詰など)
- 飲料水
- 携帯ラジオ(予備電池)
- 懐中電灯(予備電池・電球)
- ろうそく、ライター、マッチ
- ヘルメット(防災ずきん)
- ナイフ、缶切り、栓抜き
- ティッシュ
- タオル
- ビニール袋
- 上着
- 下着
- 軍手
- 救急医薬品(キズ薬、ばんそうこう、解熱剤、かぜ薬、胃腸薬、目薬など)
- 常備薬
- 貴重品(預貯金通帳、印鑑など)
- 現金
- 健康保険証のコピー

《あなたにとって必要なものを記入しましょう》

- 
- 
- 

## 非常備蓄品(復旧するまでの数日間を支えるもの)

- 食品(缶詰、レトルト食品、ドライフルーツや栄養補助食品など)
- 食品(調味料、スープ・みそ汁など)
- 食品(チョコレート、のどあめ、梅干など)
- 水(1人1日当たり3リットル)
- 燃料(卓上コンロ、固体燃料、予備のガスボンベなど)
- 毛布、タオルケット、寝袋など
- 洗面用具(歯ブラシ、石けん、タオル、ドライシャンプーなど)
- 鍋、やかん
- 簡易食器(わりばし、紙皿、紙コップなど)
- ラップ、アルミホイル
- ウェットティッシュ、トイレットペーパー
- 使い捨てカイロ、マスク、新聞紙、裁縫セットなど
- 簡易トイレ
- 予備のめがね、予備の補聴器など
- 自転車
- 工具類(ロープ、バール、スコップなど)

《あなたにとって必要なものを記入しましょう》

- 
- 
- 

## 家族の避難先

### 一時避難場所・避難所

### 家族が離ればなれになった時の集合場所